富士経済

機能志向食品の国内市場を調査

18年はダイエット系が伸長し 2・0％増の9317億円

富士経済は、健康や美容に良いとされる成分を添加、強化した食品群のうち、錠剤形状、粉末形状の商品を主な対象とする健康食品とシリーズサプリメントに属する商品の市場を各訴求効能別（生活習慣病予防、ダイエット、美肌効果など）、成分別種類別に調査・分析し、２０１６年～２０１８年の市場規模を推計した。

２０１６年の市場規模は、前年比３・８％増の８８８４億円だった。

ダイエットは、脂肪低減や脂肪増加抑制などを表示した機能性表示食品やスポーツ用途型プロテイン商品が伸びたのに加え、スマートフォンを主媒体としたデジタル広告戦略によって新興企業が躍進した。

生活習慣病予防は、サントリーウエルネスの「ＤＨＡ&ＥＰＡ＋セサミンＥＸ」などＤＨＡ・ＥＰＡ配合による中性脂肪値・コレステロール値改善や血糖値改善が伸びた。また、グリーンチャージで健康食品の青汁（粉末）やミドリムシ配合の好調な推移が続いた。ほかにも、「睡眠の質改善・向上」「目のピント調節」「筋肉維持」などを訴求する機能性表示食品も好調だった。

２０１７年の市場規模は、前年比２・８％増の９１３１億円だった。

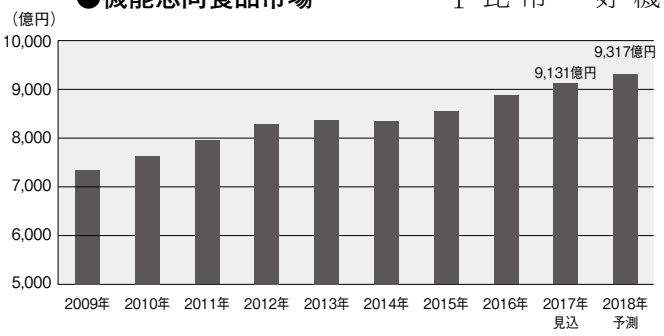
生活習慣病予防が一部メーカーの特定保健用食品終売などの影響によりマイナスとなり、伸長を続けてきたアイケアもマイナスに転じる中、ダイエットは大幅に増加した。また、グリーンチャージの続伸、需要が低迷していたマルチバランスの復調、テレビ番組で取り上げられたコラーゲンの伸びが貢献し、美肌効果がプラスに転換した。

なお、２０１７年の市場内訳は、健康食品が77・7％、シリーズサプリメントは22・3％となっている。

２０１８年の市場規模は、前年比２・０％増の９３１７億円（健康食品＝７２０６億円（１・５％増）、シリーズサプリメント＝２１１０億円（３・８％増））を見込む。

規模の大きい「ダイエット」（２０１８年＝１５３６億円（５・６％増））の続伸や、「グリーンチャージ」（２０１８年＝９５７億円（４・１％増））、各種栄養成分を一括に摂取できる「マルチバランス」（２０１８年＝８１４億円（１・６％増））の伸びが期待されることにより、市場拡大が続くと予想される。

●機能志向食品市場



職場でのネール意識について調査

日本ネイリスト協会

日本ネイリスト協会は、3月22日～27日にかけて、20歳以上の男女2619名を対象に「職場でのネールのおしゃれに関する調査」をインターネットにて実施した。

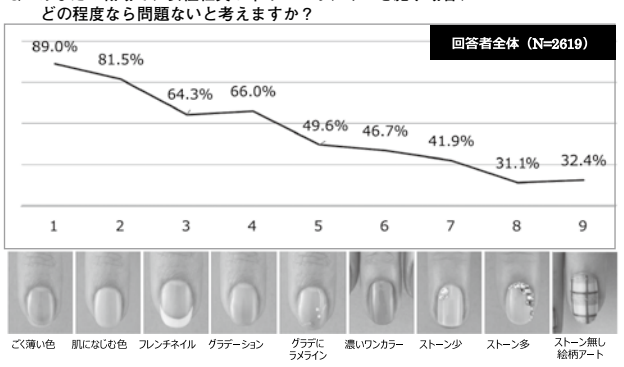
「自身の職場でネールのおしゃれが認められているか」を尋ねた質問では、「はい」36・1％、「いいえ」35・5％と、ほぼ半々の結果となった。

業界別に認められている割合を見ると、「ファッション・アパレル・繊維」（75・8％）などファッション関連や、「メディア・エンターテインメント」（69・2％）といった流行に敏感な業種では高くなっているのに対し、衛生面を重視する「飲食業」（15・0％）や「医療」（15・1％）では低い数字となっていた。

一方、「女性社員がネールのおしゃれを施す場合、どの程度なら問題ないか」という質問では、職場でのネールのおしゃれが認められていない業種でも「ごく薄い色」（89・0％）、「肌に馴染む色」（81・5％）であれば「問題ない」とする回答が多かった。

同協会では、派手な印象を与えないナチュラルなネールなら「身だしなみ」の範疇として捉えられる一方、フレンチネールやラメラインといったアートネールは受け入れられにくいという調査結果を踏まえ、ネールのおしゃれを楽しむ方法について、長期休暇に合わせてネールサロンを予約することや、簡単に取り外しできるチップ（つけ爪）を利用することを勧めている。

Q　あなたの職場で、女性社員がネイルのオシャレを施す場合、どの程度なら問題ないと考えますか？



私の H&B 日記

専門家の知恵

化粧品専門店に取材に行くと、時折「何の化粧品使っているの？」とお店の方に聞かれることがある。ここ数年はずっとニキビに悩まされ、肌にもニキビ跡が残ってしまっている。化粧をしている状態でもベテランスタッフの方には丸わかりらしく、「肌に合っていないんじゃないか」と心配されていた。

そう聞かれると、「ニキビ悩みには、どんな化粧品がオススメですか」と逆に質問し、その場で簡単なカウンセリングを受けたりする。

各店舗で取扱メーカーに違いがあるため、おすすめされる化粧品も異なるかと思い何度かそんなやりとりを続けてみたが、おすすめされる化粧品は大体同じだった。「なるほど、ニキビ悩みにはこの化粧品がオススメなのか」と新たな知識が増えたところで、先日、とある化粧品専門店では「体温が低いから肌悩みや様々な問題が起きているのではないか」と指摘された。

そのお店は健康食品に力を注いでおり、「これを摂取することで身体にこのような作用が期待できる」という話を聞いているうちに、「実は、私の平熱は36度を下回っている」と何気なく伝えたところ、様々なアドバイスを受けた。

平熱の低さは免疫力に影響していると知識として頭に刻まれていたものの、「肌にも何かあるらしい」という漠然とした感覚しかなかった。今回、しっかりと血液循環やら何やらの話を聞き、頭に入った。今後は身体を温めることができるよう、気をつけていこうと思う。

ところで、ニキビ問題に関しては、身体を温める前に落ち着いた。これまで使っていた化粧水が尽きてしまい、新しいものを購入できるまでの繋ぎとして使用した化粧水が肌に合ったらしい。

ニキビは生活習慣か何かで悪化していると思っていたため、アドバイスを受けてもスキンケアを変えたりしていなかった。まさか、8年使っていた化粧水に問題があったとは……。肌に合った化粧品を見つけることの重要性を改めて感じた。（黒）